

ふりがな 活動組織名	ほたるすむほとのかんきょうまもるかい 蛭すむ発戸の環境守る会				活動開始 年度	平成20年度
ふりがな 所在地	はにゆうしおおあざほとちない 羽生市大字発戸地内				現活動期間	R4~R8
交付金額(基本)	農地維持	1,260,000 円	資源向上 (共同)	756,000 円	資源向上 (長寿命化)	円

※交付金額は、交付単価に基づいた金額を記入しています。

主な活動 又は 特色ある活動

当地区は羽生市の北部、利根川の右岸脇に位置する水田農業地帯である。
 特色ある活動としては、隣接、点在する休耕地を活用して蛭の里ビオトープを作成、蛭を含め（蛭、タニシ、タナゴ、ドブ貝、ヨシキリ他）在来生物の保護活動を行っている。また古代米を栽培し青刈り、乾燥して注連縄を作成、地元の神社に奉納している。6月中旬から7月にかけて蛭の鑑賞会を開き、地元の井泉小学校の環境教育に活用するとともに、市内外から訪れる来場者に蛭を通じた環境保護の大切さを紙芝居等を交えて伝えている。5月には田植え、9月には刈り取りを行い、米づくり体験学習会（ごはんのできるまで）として子供たちへの食育も行っている。
 休耕農地には、落ち葉を使った苗床でさつま芋苗を作り、苗植え付けの体験会を行い、10月~11月上旬芋ほり収穫祭を開催、幹線道路沿いには定期的な花植え、隣接する遊休農地には季節の花種を播種して景観形成を行い、訪れた人に安らぎの場を提供している。
 毎日のラジオ体操に加え定期的に交流カフェの開催、地域住民の交流の場を増やすことにより、本事業の理解が深まり、活発な共同活動につながっている。



(蛭の里環境教育学習)



(農業体験)



(交流カフェ)

今後の取組について

今後も、蛭を含め生息する在来生物の保護活動を通じ、子供たちに地域の環境保全活動の重要性を教えるとともに、本組織の構成員である様々な団体や農業法人と連携して、道路・水路の維持管理を含め、増加する休耕地を活用した果樹園(桃、栗、ブルーベリー、みかんなど現在試験栽培中)を造成し、将来の子供たちのために良好な農村環境の保全、発展を図って行く。

【認定の対象となる資源の状況】

田	畑	草地	用水路 (開水路)	用水路 (パイプライン)	排水路	ため池	農道
51 ha	ha	ha	9,460 m	m	m	箇所	14,090 m

【活動組織の構成員】

農業者	98 人	主な構成 団体名	発戸自治会、発戸土地改良組合、ほとと蛭の会、花いっぱいホットクラブ、早起きラジオ体操クラブ、発戸益社会、発戸クラブ、発戸子供育成会、イオンチアーズクラブ、農事組合法人ハウフラワー、イオンアグリ創造
非農業者	131 人		